

7 - 2 西南日本内陸部の地震活動（1999年11月～2000年4月）

Seismic Activity in the Inner Zone of Southwest Japan (November, 1999-April, 2000)

京都大学防災研究所地震予知研究センター

Research Center for Earthquake Prediction

Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第1図は1999年11月から2000年4月までの西南日本内陸部の地震活動状況を示す。この期間は、飛騨山脈の群発活動は沈静化し、三重・奈良県境の群発地震活動も数はかなり減少し、全体的には前の期間より少し静穏である。

1. 中部地方北西部の地震活動

第2図は飛騨地方北部および能登半島・富山湾周辺を含む北陸地方北部の地震活動状況を示す。

飛騨山脈の群発活動は沈静化しこの期間 M3.3 以上の地震は発生していない。御嶽山の北側岐阜県高根村では、1999年12月6日に M3.3 の地震が発生している(2)。さらに東の長野県中部地震の余震域では2000年1月7日に、久しぶりに M3.5, M4.0 の地震が起こっている(3)。これらの地震以外では M3.3 以上の地震は発生しておらず、前期同様静穏である。

2000年4月17日に、この地域の西方の長野県木曾福島で M3.4 の地震が発生している(10)。跡津川断層の北東端立山町で2月3日に M3.9 の地震が発生している(4)。この地域の少し東方では前期の8,9月に M3.3 以上の地震が発生していた。さらに北北東の長野県白馬村では2月9日に M3.4 の地震が発生している(5)。日本海域では、新潟県糸魚川市沖で4月11日に M3.5 (7)、能登半島輪島市沖で、同日 M4.0 の地震が発生している(8)。

これ以外では、4月17日に、岐阜県高山市で M3.3 の地震が発生しているくらいで、この期間は全体的に静穏である。(1),(6)については、後の項で述べる。

第3図は北陸地方南部の地震活動状況を示す。

この地域は東部の福井・岐阜県境付近の活動はそれほど変化がないが、越前岬沖の日本海および福井県平野で地震活動が少し活発化している。

11月7日に越前岬沖で M5.5, 4.1 の少し大きめの地震が発生し余震活動もみられた(1)。さらに2000年1月24日には少し南南西で M3.7 の地震が発生している(6)。福井・岐阜県境では11月30日に M3.5 の地震が発生し(3)、その南南東で2000年3月24日に M3.8 の地震が発生している(8)。2000年1月10日に石川・福井県境の金津町で M3.5 の地震が発生し(9)、4月23日には福井県今庄町東方の福井・三重県境で M3.6, 3.4 の地震が発生している(9)など、福井県の周りの活動が目立っている。この他には、2000年3月13日に岐阜県根尾村で M3.4 の地震が発生している。(2),(5)の地震については次項で述べる。

2. 近畿地方中北部の地震活動

第4図はこの地域の地震活動状況を示す。

この地域は奈良・三重県境の群発地震は静穏化に向かいつつあるが、丹波帯の地震活動は前期同様活発である。ただ、前期に比べ活動域が少し東方に偏っている。

奈良・三重県境の群発活動では、M3.3以上の地震は12月5日にM3.8、2月22日にM3.4、2月23日にM3.3、3月26日にM3.5と前期とは大幅に数を減らしている(1)。その少し西方で2000年3月9日にM3.4)の地震が発生している(4)。

丹波帯の東端花折断層周辺では11月10日に滋賀県朽木村でM3.8(9)、京都市中部で2000年1月6日にM3.8(10)の地震が発生している。その西方の丹波帯では、2月26日に京都市西部でM3.5(2)、2月27日、3月15日には京都府日吉町でそれぞれM4.0、3.4(3)の地震が発生している。さらに4月12日には京都府長岡京市でM3.5(6)の地震が発生するなど、小粒ではあるが、活動が短期間に集中する現象がみられた。

その他の地域では、2000年1月23日に、花折断層の東方の滋賀県高島町東方でM3.3の地震が発生している(11)。1月27日には三重県北部の青山町で、M3.7の地震が発生している。京都・滋賀・奈良県境付近では、2000年4月26日に滋賀県信楽町でM3.3(7)、4月28日に京都府月ヶ瀬村でM3.5(8)の地震が発生している。大阪湾では、今期も1月28日にM3.3の地震が発生している。

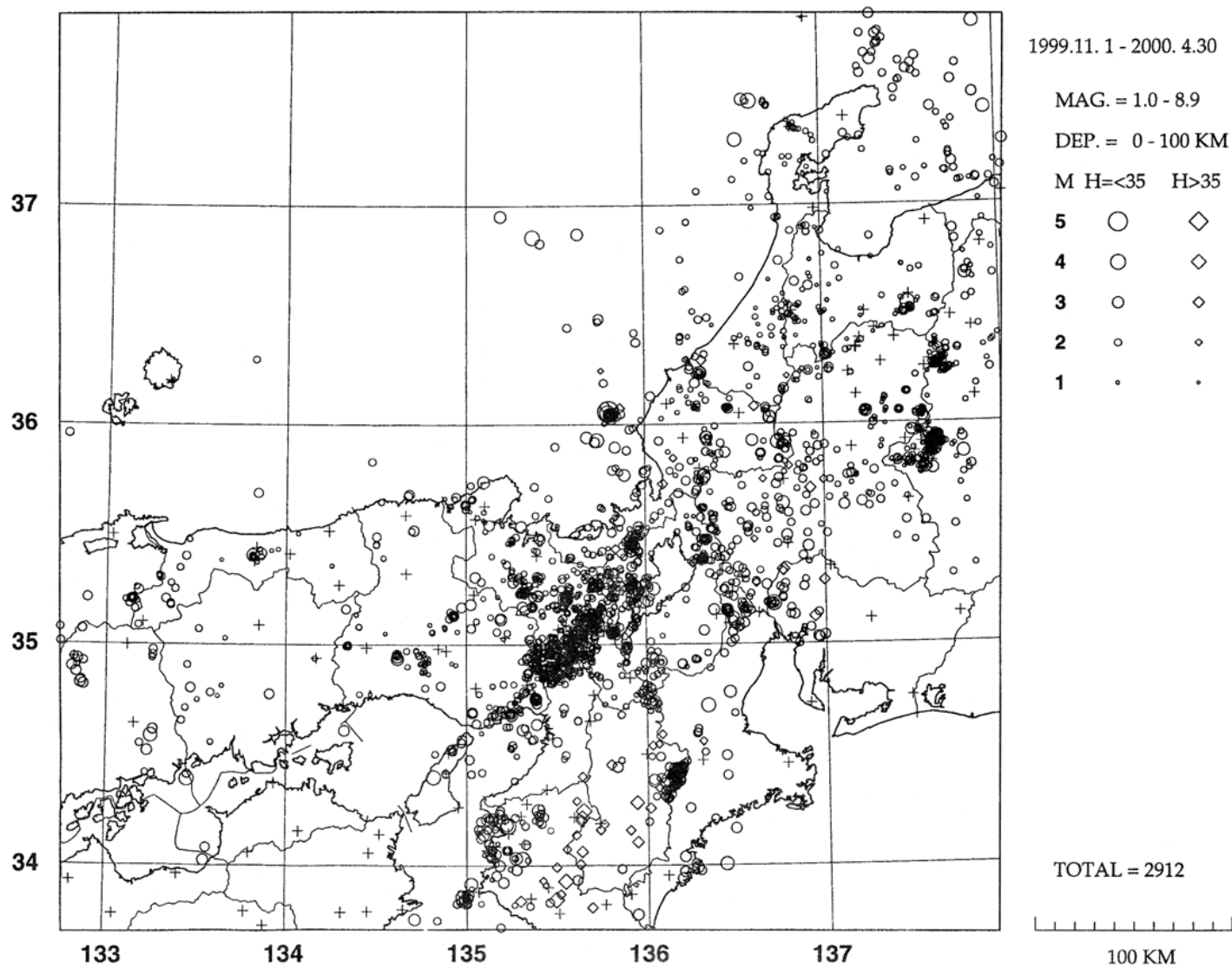
兵庫県南部地震の余震は前期に比べて静穏でM3.3以上の地震は、2000年3月18日に余震域南端の五色町で発生したM3.8の地震だけである。

3. 中国地方東部の地震活動

第5図はこの期間中の中国地方東部の地震活動を示す。この期間は、前期活発だった山崎断層の地震活動が沈静化し、他の地域も非常に静穏である。

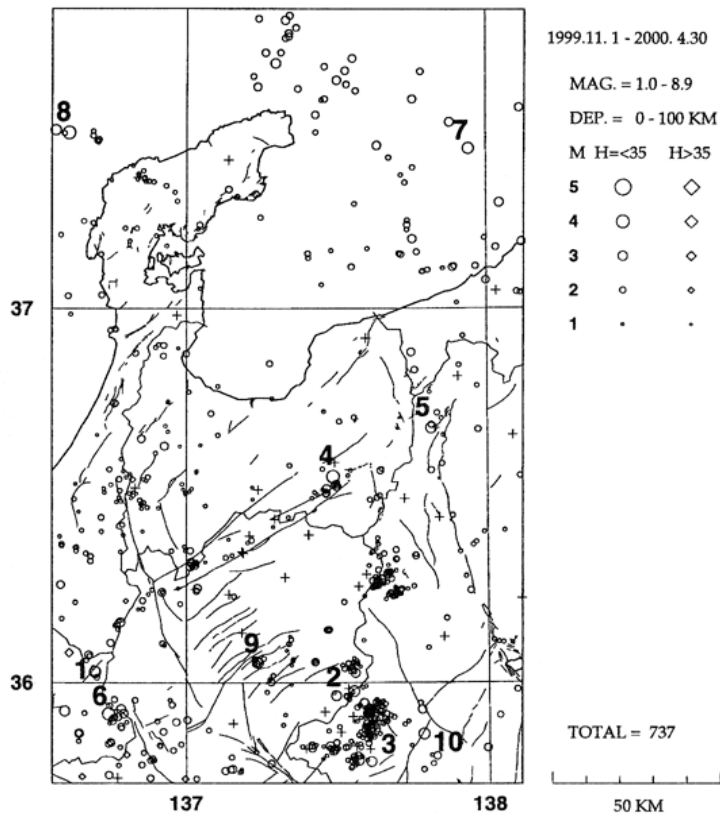
前期比較的活発であった山崎断層の活動は前期に発生していない兵庫県安富町で12月3日にM3.3の地震が発生した(2)だけで他に目立った活動はない。鳥取地震断層では、2000年1月30日に倉吉市でM3.3の地震が発生しているが、この周辺だけが活動的で他は非常に静穏である。鳥取県西部地震の余震域でも活動は非常に低調で、今期はM3.0以上の地震は発生していない。

その他の地域では広島県東部と東北部で地震活動が活発で1999年12月6日に東部でM3.6(3)、12月20日には東北部でM3.0の地震が発生している。丹後半島の京都府網野町では2000年4月19日にM3.0の地震が発生している。



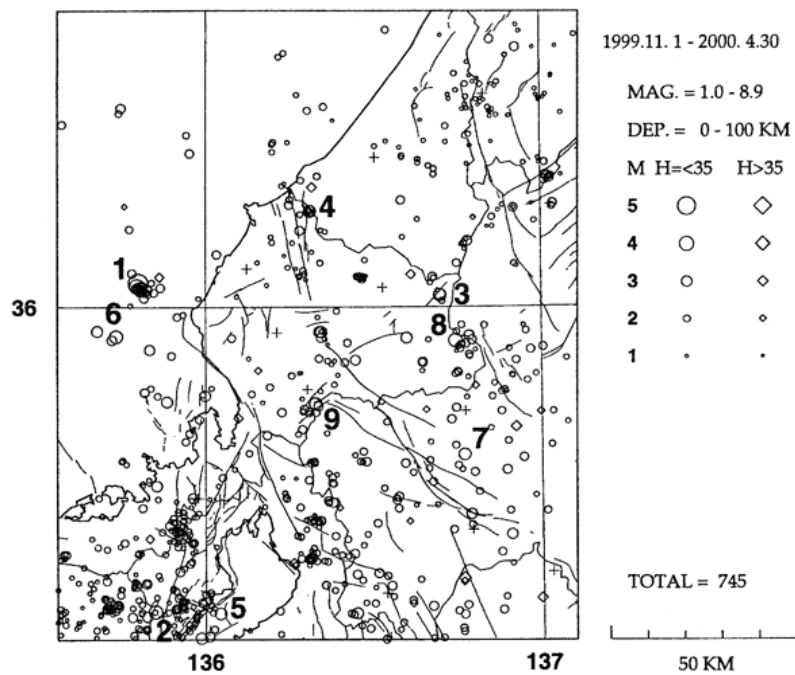
第1図 西南日本内陸部の地震活動（1999年11月～2000年4月）

Fig.1 Seismicity in the inner zone of Southwest Japan , November , 1999-April , 2000



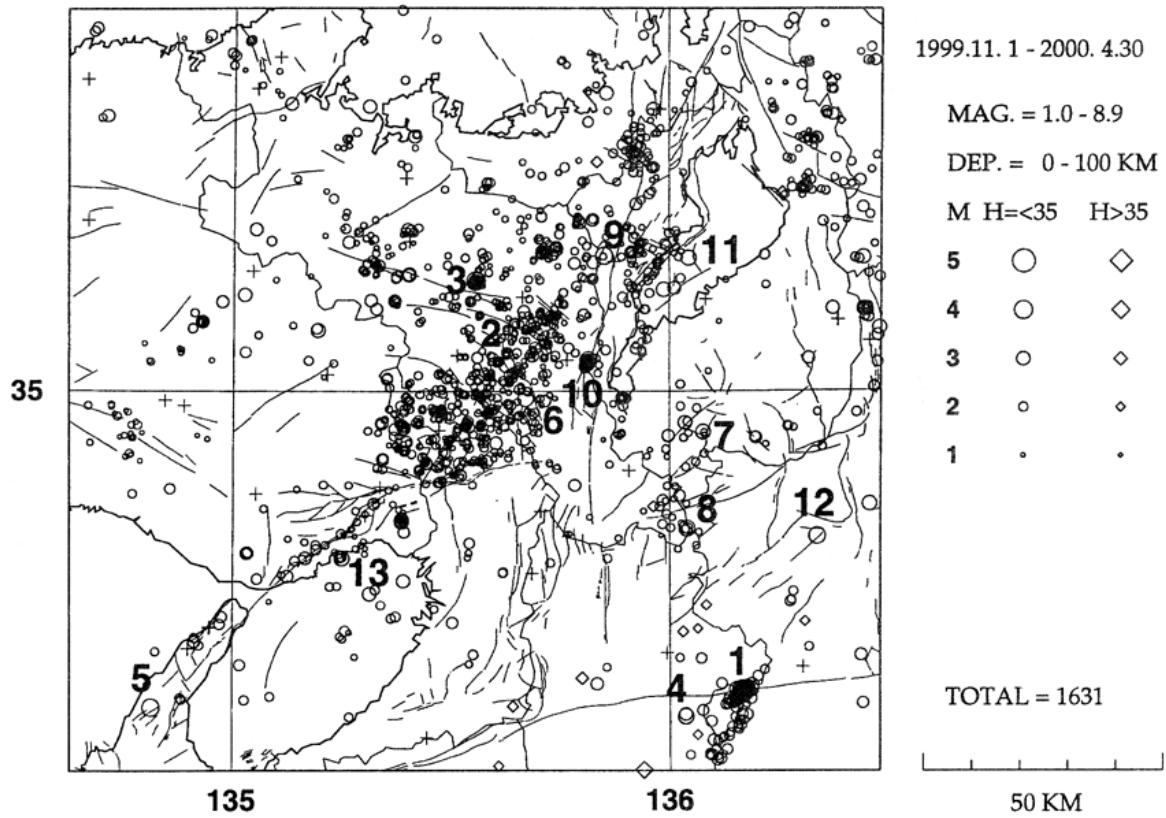
第 2 図 中部地方北西部の地震活動 ,(1) 飛騨地方北部および北陸地方北部 (1999 年 11 月 ~ 2000 年 4 月)

Fig.2 Seismicity in the northwestern Chubu region (1) northern Hida and northern Hokuriku region ,during the period November , 1999-April , 2000



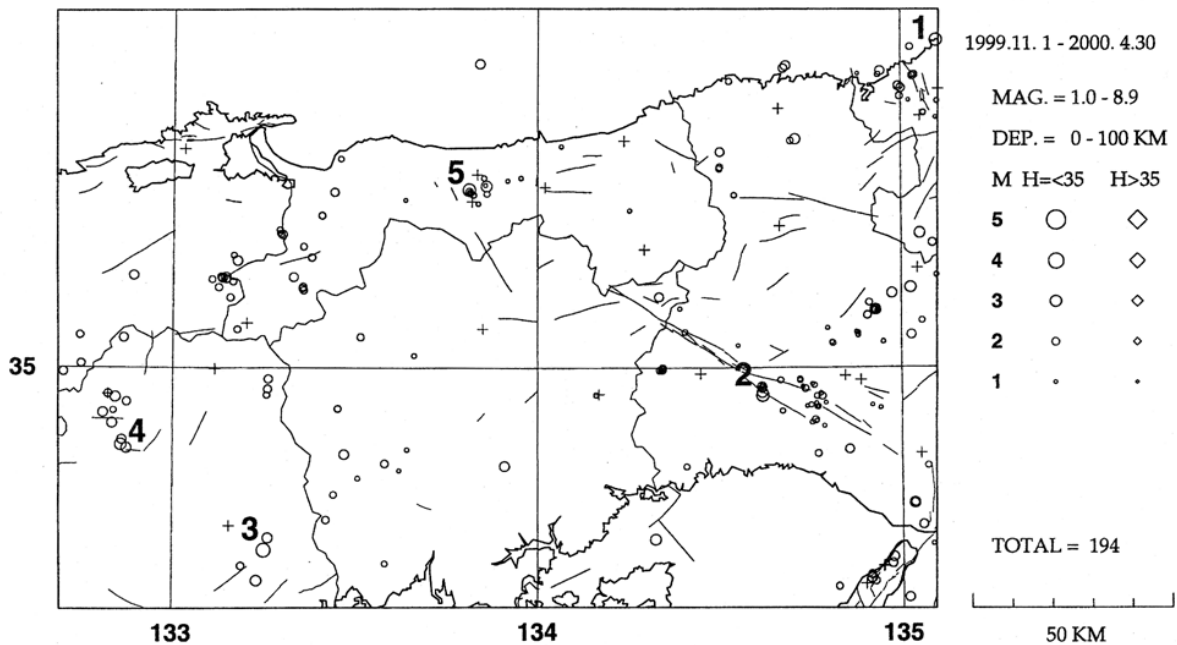
第 3 図 中部地方北西部の地震活動 ,(2) 北陸地方南部 (1999 年 11 月 ~ 2000 年 4 月)

Fig.3 Seismicity in the northwestern Chubu region ,(2) southern Hokuriku region , during the period November , 1999-April , 2000



第4図 近畿地方中北部の地震活動 (1999年11月~2000年4月)

Fig.4 Seismicity in the central and northern Kinki region, during the period November, 1999-April, 2000



第5図 中国地方東部の地震活動 (1999年11月~2000年4月)

Fig.5 Seismicity in the eastern Chugoku region, during the period November, 1999-April, 2000